

福岡都市圏南部環境事業組合建設検討委員会

第18回建設検討委員会 会議概要

1.開催日時	平成21年 8月28日(金) 15:25~17:00
2.開催場所	春日市議会 全員協議会室
3.出席者	<p>委員長(福岡市環境局長)          副委員長(春日市地域生活部長)          委員(福岡市環境局環境政策部長)          委員(福岡市環境局施設部長)          委員(福岡市環境局環境政策部環境政策課長)          委員(春日市地域生活部環境課長)          委員(大野城市環境生活部長)          委員(大野城市最終処分場対策室長)          委員(太宰府市市民生活部長)          委員(那珂川町住民生活部長)          委員(那珂川町住民生活部環境防災課長)          委員(福岡都市圏南部環境事業組合事務局長)</p>
4.欠席者	委員(太宰府市市民生活部環境課長)
5.議 題	<p>(1)議事              議題1 スケジュール(案)について              議題2 中間処理施設の規模及び基数構成について</p> <p>(2)報告              報告1 事業方式について</p>

## (1) 議 事

### 議題1 スケジュール(案)について

#### 【協議事項】

中間処理施設の処理方式が7月に決定し、その後の答申までの建設検討委員会におけるスケジュールについて協議した。

中間処理施設の基本計画及び中間処理施設・最終処分場の事業方式について、管理者への答申を12月までに行うことで決定した。

### 議題2 中間処理施設の規模及び基数構成について

#### 【協議事項】

施設規模の算定方法及び基数構成について協議し、以下のとおり決定した。

#### 1. 施設規模

関係市町のごみ量を基に、環境省が定めた計画稼働率から算定した規模に、地震や水害等の災害廃棄物の発生に対応するために必要な規模を加えて算定する。

#### 2. 基数構成

関係市町から排出される可燃ごみは、組合で確実に処理する必要がある。(域内処理の原則)  
定期整備期間中でも排出される可燃ごみを確実に処理できることが重要である。  
そのためには運用上のリスク等を考慮すると基数構成は3基構成とする。

## (2) 報告

### 報告1 事業方式について

#### 【報告事項】

経営手法専門部会において現在までに検討した内容について事務局より報告を受けた。

#### (主な報告事項)

- ・事業方式の絞り込みについて(民間委託、DBO、BTOの3方式に絞り込んで比較検討した。)
- ・リスクの分担について(本事業において想定されるリスクを抽出した。「リスクを最もよく管理するものが当該リスクを分担する。」という基本的考えからリスク分担表を作成した。)
- ・定量的評価について(VFMの評価。)
- ・定性的評価について(定量的評価では判断できない点について組合コンセプトを基本に評価した。)
- ・総合評価について

以下の意見について、専門部会での検討を依頼することとした。

#### (主な意見)

- ・VFMの試算条件を明確にして欲しい。
- ・民間委託、DBO、PFIの区分については、形式的な表記ではなく、想定している契約形態等を説明する必要があるのではないか。